

最優秀作品賞  
受賞作品集  
2022

こどもたちの  
未来のために…

ファミリーマート  
ありがとうの14<sup>th</sup>  
手紙<sub>てがみ</sub>コンテスト



# C O N T E N T S

## ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト2022

今年度14回目となる本コンテストは、夏休みの前に全国19,161校・約615万児童に向けてご案内し、結果9月15日から10月15日の1ヶ月の間で、応募総数10,775通にも上る心温まる作品をいただきました。甲乙つけがたい力作ぞろいの中から選ばれた、文部科学大臣賞、全国7つのブロックを代表する最優秀作品賞全20作品、審査員特別賞全35作品、学校団体賞全14校・団体をご紹介します。なお、本コンテストの詳細報告は、ファミリーマートのホームページでもご紹介させていただいております。

([https://www.family.co.jp/sustainability/children/thanks\\_letter.html](https://www.family.co.jp/sustainability/children/thanks_letter.html))

- ★文部科学大臣賞受賞作品紹介 …………… 4
- ★最優秀作品賞受賞作品紹介 …………… 5
- ★審査員特別賞受賞作品紹介 …………… 25
- ★学校団体賞受賞校・団体紹介 …………… 32



## こども支援活動

ファミリーマートの社会貢献テーマである「こども支援」について、代表的な活動事例をご紹介します。これからの次世代を育成するさまざまな活動を通して、家族を、地域社会を、より良い将来を応援していきます。

- ★その他の活動 …………… 33

## 実施概要

- 応募期間** 2022年9月15日(木)～10月15日(土)
- 応募資格** 小学校1年生～6年生
- 審査** 一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定
- 最終審査会** 2022年11月30日(水)
- 文部科学大臣賞** 全国から1名
- 最優秀作品賞** 低学年部門(1・2年生)、中学年部門(3・4年生)、高学年部門(5・6年生)部門ごとに審査 合計20名  
※全国を7ブロックに分割し、審査を実施
- 審査員特別賞** 各ブロック5名 合計35名
- 学校団体賞** 各ブロック2校・団体 合計14校・団体
- 応募総数** 10,775通



# ご報告にあたって

この度は、『ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト 2022』に作品応募をいただき、誠にありがとうございました。今年度は、全国から10,775通のご応募をいただきました。先生方、保護者の皆さまをはじめ関係各位に改めて御礼申し上げます。

本コンテストは2022年で14回目を迎え、子どもたちが感謝の気持ちを言葉にする機会として回を重ねてまいりました。このような取り組みを評価いただき、2019年には、文部科学省後援事業に認定され、今年からは、応募者の中から、感謝の視点・表現において最も高い評価を得た作品に対して「文部科学大臣賞」を授与させていただくことになりました。

今回もご応募いただいたすべての作品に、様々な「ありがとうの気持ち」が込められており、毎回のことではありますが、その言葉の一つ一つに心が洗われます。同時に、SDGs（持続可能な開発目標）を意識した自然環境や地域社会への感謝の気持ちを込めた作品も多数みられ、子ども達の感性にあらためて感心致しました。

近年はソーシャルメディアの発達により、子どもたちもスマホなどを使用して簡潔かつ容易にコミュニケーションが図れるようになりました。そのような中で、このコンテストでは一貫して「自筆で」「手書きで」子どもたちに手紙を書いてもらうことにこだわっています。感謝の思いの大切さと、文字を書くことの大切さ、手紙というコミュニケーションが持つ温かみを知る機会にもなればと願っています。

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニに、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指しております。これからも地域社会が「ありがとう」という素晴らしい言葉であふれることを切に願い、皆さまに愛される企画として継続してまいります。

令和5年1月 吉日

株式会社ファミリーマート 代表取締役社長 細見 研介

主催：株式会社ファミリーマート

後援：文部科学省 全国市町村教育委員会連合会 / 全国連合小学校長会 / 全国小学校国語教育研究会 / 全国小学校  
道徳教育研究会 / 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 / 生活科教育研究会 / 株式会社教育新聞社

# 審査員講評



審査員長 **池上 彰**  
ジャーナリスト

手紙を書くことは、送る相手を思って一生懸命考える大切な時間です。誰にありがとうを伝えようかと考えることは、自分が今までどうやって生きてきたのかを考える機会でもあります。その中で支えてくれる家族や友人、先生はもちろん、自然や地球にも感謝の気持ちが生まれていると感じます。ほっこりしたり、思わずじーんとしたり。心を動かされる貴重な時間を過ごすことができました。素晴らしい手紙を寄せてくれた皆さんに、私から「ありがとう」を送ります。



審査員  
児童文学作家、  
日本児童文学者協会会員  
**いとう みく**

SDGsやコロナなど、時勢を感じるものも多く、子どもたちの意識の高さや視野の広さに驚かされました。手紙というのはいまを映し出すものなのですね。そうした手紙も、家族や友だちなど身近な人や物に宛てた手紙も、魅力的な手紙は共通して、子どもたち一人ひとりの日常から生まれた「ありがとう」、生活のなかで気づいた「ありがとう」から綴られていると感じました。今年もたくさんの素晴らしい手紙に出わせていただきました。ありがとうございました。



審査員  
株式会社小峰書店  
代表取締役社長  
**小峰 広一郎**

斬新な視点でありがとうの気持ちを綴る子どもたちの感性には感動を覚えました。普段は何気なく接していた周りの人や出来事、また日々の生活で当たり前だと思っていたことに対して、手紙を書くことをきっかけにして、新たな気づきを得ていることが伝わってきます。そして単なる気づきで終わらせるのではなく、自ら調べることでさらに深い学びを得て子どもたちは成長していくのではないのでしょうか。特に今回は、持続可能な社会の実現に向けて環境問題を自分ごととして捉え、自らの行動に移していることがわかるたくさんの素晴らしい手紙にも出会うことができたことはうれしかったです。



審査員  
作家、日本ペンクラブ  
「子どもの本委員会」メンバー  
**野中 柊**

ご応募いただいた作品の数々から、子どもたちの豊かで伸びやかな日常を垣間見ることができて楽しかったです。生きることに懸命な姿が目に見えようでした。近年は、メールやラインが便利に使われているのでしょけれど、〈手紙を書く〉という行為は素晴らしいと、あらためて思いました。まっさらな紙を前にして、自分自身の言葉を探しながら、さまざまなことを、ゆっくり、じっくり考えることにつながるでしょうか——真心のこもった素敵な手紙をお送りいただきまして、ありがとうございました！



審査員  
株式会社ファミリーマート  
執行役員 CAO(兼)管理本部長  
**垣見 俊之**

今年度は、10,775通のご応募をいただきました。作品には、普段の生活を支えるために働く方への感謝の気持ちだけでなく、自然環境や住みやすい街に向けて感謝を表すSDGsに関連した手紙も多く見られました。いずれの作品も、子どもたちの視点や感性が素晴らしいものだと実感するとともに、日常生活にある「ありがとう」をより身近に感じる、心温くなる作品ばかりでした。今年で14回目を迎えた、この「ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト」は、ファミリーマートのサステナビリティ活動のなかでも地域や次世代に対して貢献度が高く、ファミリーマートらしい施策の一つです。これからも素晴らしい作品に出会えることを楽しみにしながら、これまで以上に地域社会の発展や子どもたちの成長の一助となる活動にしていきたいと思っております。



## ◆◆◆◆◆ 受賞お祝いコメント ◆◆◆◆◆

### ◆ 審査員から

曾祖母の手から、生きてきた道のり、頑張ってくれたことが、今の自分につながっていることへの感謝を綴った作品。こどもらしい瑞々しい感性と1年生とは思えない表現力が素晴らしい。

### ◆ 校長先生から

文部科学大臣賞の受賞、おめでとうございます。倫子さんが、ひいおばあちゃんのことを大好きなのがよくわかるすてきなお手紙でした。ひいおばあちゃんのことをよく見ているので、95年分のしわや、草かりをがんばったゆびのことに気がついたんですね。ひいおばあちゃんも、きっと倫子さんのことが大好きだと思いますよ。

### ◆ 保護者様から

もんぶかがぐだいじんしょう、じゅしょうおめでとう。だいすきなひいおばあちゃんへのきもちをすなおにかけましたね。ひいおばあちゃんのをよくみて、しわやけっかんをじょうずにかけました。そして、ひいおばあちゃんによるこんでもらえたことがとてもよかったね。これからも、じぶんのきもちをてがみやえでたくさんひょうげんしてください。



わたしがもっていた、わくわくお家メモをおぼえていますか？わたしはそこに、3つのおねがいを書きました。1つ目は、わたしのへやがほしい、2つ目は、じしんに強いお家がいい、3つ目は、赤ちゃんとおふざいへやがほしいです。全ぶかなえなくてありがとうございます。

たてているとき、雪がふったり、大きなじしんがきたりして、ちゃんとたつかへはいたけれど、大工さんにちがまもってくれて、ちゃんと家がたちました。本当に、ありがとうございます。

今わたしは、楽しいお家で、赤ちゃんのおとうとおそんたがり、ピアノをひいたり、けんきょうしたり、にわでやさいをそだてたりしています。色々なことができ、とても楽しくて、早くかえりたくなります。こんなに、すきなお家を作ってくれたみなさんに、ありがとうを100回言て、ダンスして、でんぐりかえしをしたいです。これから、家ぞくみんなでしあわせにいらしていきます。本当にありがとうございます。

北海道・東北ブロック

低学年の部

最優秀作品賞

久能 和佳さん(2年)  
福島大学附属小学校

✿ 審査員から ✿

希望の家が出来たことのうれしさにあふれている作品。出来上がるまでに携わってくれた方たちへの感謝とワクワクする気持ちが素直に書かれている。

三年二組 梅津 結翔

ぼくは、たくさんのおんなにありがとう  
言いたいです。  
理由は、ぼくは右へんマが、て右手と  
右足が使いにくいです。手にはあまり力が入  
らなくて、重い物が持てなかつたり、足には  
そうぐきはいて学校に行けません。  
ぼくが、ありがとと言いたい人はたくさん  
いてお父さん、お母さん、おばあちゃん  
それから、びゅういんの先生と学校の先生  
ラスのみんなや友達です。みんなぼくの事  
を助けてくれます。出来る事は自分でやる  
ど出来る事はおうえんしてくれたりします  
今は本当の友達がたくさんいてぼくは学校  
かとても楽しくてです。  
足がわるがたり、そうぐきはいてたり  
すると色いろ言われる事もあったけれど  
くれる人もいてありがとと言う言葉がぼく  
は、好きです。ごめんなさいよりもありがと  
うの言葉の方が言われる方もうれしげです

お母さんに教えてもらったからぼくはありが  
とと言えるのかカッコイイ人になりたいです。  
そして、とても大きくなったら、自分も助  
けてあげられる人になりたいと思います。  
これからもっとおびずかしく事を学校でやら  
せたりできるようになるけれど、ぼくは、みんなと  
同じようにやりたいので、あきらめないうち  
も、ちゅうせんくでがんばりたいです。  
みんなありがとうごさります。これ  
からもよろしくね。

北海道・東北ブロック

最優秀作品賞

中学年の部  
梅津 結翔さん(3年)  
福島市立杉妻小学校

審査員から  
支えてくれた家族、医療従事者、先生、友達  
たちに向けて、一文字ずつ心を込めて書かれ  
ている手紙。ありがとうと言えるカッコイ  
イ人になりたいという決意が素晴らしい。





「じいじへ」

じいじ、いつもおいしいやさいをとどけて  
くれてありがとう。じいじのやさいは、ほく  
ほくしてあまいよ。モロヘイヤは、つるつと  
たべられて、えがまめはスーパーでかたえ  
だまめとは、なにかちかう。そうだ、じいじ  
のはたけのおいしさ。いろんなあじかつ  
ま。たにんじんは、いちばんだいじょうぶよ。  
このあいだ、いっしょに夏やさいを、しり  
うかくしたね。じいじ、どくむしにいっぱい  
させられたから、はたけしごとしているなんてす  
ごいよ。てぬぐいがあるでぐっしりぬれて  
いてあつくてたいへんだとおもった。し  
うかくは、ほんの1時間だけど、すごくあ  
つかったよ。じいじはまいにちあさはやくか  
らゆうかたまではたらいしているのかとおも  
と、「じいじはすごいな。」とおもったよ。こ  
しかいたいのはいっしょにうけんぬいはたら  
いているからなのかな。はやくよくなるとい  
いたよ。これからもはたけしごとがんばって

コクヨ ケー10 20X20

関東1ブロック

低学年の部

最優秀作品賞

よこやま つむぎ  
**横山 紬さん(1年)**  
墨田区立二葉小学校

✿ 審査員から ✿

一緒に農作業をしたことで、暑い日にも畑仕事をする祖父の毎日を体感。そこから生まれた祖父への感謝と尊敬を書いた手紙。働く姿の描写が秀逸。

山崎先生

僕の手首の病気を治すために三年間一緒に頑張ってくれてありがとう。

「君の身体のことだからきちんと君に説明するね。」と全部話してくれるから、飲むと気持ちが悪くなる薬も、飲み続けることが出来ました。

採血が上手な安田さん(臨床検査技師)を検査の時に、指名するかどうかが迷っていた時、

「そういう事はどんどん言っていいたよ。」と背中を押してくれました。

気持ちが悪くなる薬は、昨年卒業出来たし、採血検査室では毎回「安田さんをお願いします。」と伝えられるようになったし、山崎先生はリウマチ科の先生でありながら、僕の気持ちを受けとめてくれる友人のような存在でもあります。

僕なら、僕と同じ病気の人の痛みや辛さが理解出来ると思ひ、先日、山崎先生と同じリウマチ科の医師になって役に立ちたいと伝えたに、「君が早くお医者さんになってくれないと、先生が君に教えられる時間が少なくなっちゃうよ。」と笑顔で応援してくれました。

山崎先生みたいな医師になる夢を叶えるために、勉強を頑張り、嫌な注射も我慢します。

いつもありがとうそして楽しみに待っています。

悠宏

関東1ブロック

中学年の部

最優秀作品賞

まつむら ひさひろ  
松村 悠宏さん(4年)  
川崎市立末長小学校

✿ 審査員から ✿

自分の主治医への信頼と尊敬にあふれる作品。患者と向き合い、希望を聞きながら治療する山崎先生の様子がいきいきと書かれている。将来への決意も清々しい。



お母さんへ

私は今年、小学六年生になり、何とか日本語も問題なく使えるようになりました。

今から七年前にお母さんと二人で、私の小学校への入学準備の為に日本に来た時は、二人共何を見ても、聞いても意味が分からない状態で、まるで地球に降り立った宇宙人のようだったよね。

でもね、お母さん。お母さんは、仕事と私のペットの亀や金魚達に、お花のお世話に明け暮れて、時間が無いのは分かるけど、まだ日本語を話すことが出来ないよね。そして、私が「何でお母さんは日本語を覚えたいの？」と聞くと、いつも「私はあなたが中国語を忘れないようにするために、わざといつも中国語で話をしてるのよ」と言っていて、正直なところ、少しはお母さんも日本語を覚えてほしいなあと私は思っているんだよ。

だけどもね、お母さん。そういうお母さんがたどった正しい日本語と身振り手振りで意思の疎通をしながら、毎日夜遅くまで仕事をしている姿を見ていると、私は自然と「ありがとう」という思いになるんだよ。

だからね、お母さん。いつもなかなか言えないけど、今日はこの手紙で「謝謝」じゃなくて、「ありがとう」と言おうね。そして、少しでも早く、私が書いたこの手紙をお母さんも読めるようになてほしいなあと思っています。



瑞錦より

関東1ブロック

高学年の部

たけしま みずき  
武島 瑞錦さん(6年)  
横浜市立潮田小学校

✿ 審査員から ✿

日本語が苦手ながらも頑張る母への気持ち。高学年らしく自分の考えをしっかりと書く一方、言葉では言えない思いを手紙に託すという一節がよい。

最優秀作品賞



おさかなさんへ

わたしはあじのからあげが大好きです。みほうわも大好きで、かわとほねはパリパリしていて、とてもおいしいから大好きです。このまえ、おおあらい水ぞくかんに行ったときわたしはとてもびっくりしました。わたしのたべたことのあるさかなが、いっぱいおよいでいる。おかあさんに、もうかわいそうでさかなをたべられないといったら、人はほかの生きものの命をたべて、ひつようなえいようをもらっているんだよ。だからありがとうのきもちをもって大切にいたadakんだよ、と言われました。おさかなさん、いつもありがとう。でも、それなのに、わたしたちがおさかなさんのすむうみをよごしていることもしりました。かいはつうスチックというそうです。みちにおちているゴミがうみにまでながれて行き、そのゴミをたべたおさかなは、びょうきになり、よごれたうみでは生きていけないとおもいました。ごめんねさい。大切ないのちをもっているのに。わたしは、ゴミを、やさないようにします。それにリサイクルもするし、むだにオモちゃをかわないようにきおつけるね。それにごみをたさないようにして、うみをきれいにできるようにがんばるね。おさかなさん、ありがとう。



関東2ブロック

低学年の部

もりやま

かな

森山 佳奈さん(2年)  
江戸川学園取手小学校

✿ 審査員から ✿

自分の好物、水族館で感じたこと、母の言葉が、自分の中で命をいただき生きていることへの感謝、海の環境を守ることの大切さにまで深められている点が素晴らしい。

最優秀作品賞



わが家の巨木

タブノキへ

いつも私達を見守ってくれてありがとう。わが家のタブノキは雨がふったら雨をしのいでくれるし、夏は強い日差しをさえぎってくれる。わが家の目じるしにもなってくれる。住みついた鳥や虫たちは、私の目覚まし時計。季節が変わると木も、ころもがえをする。それなら他の木も同じじゃ人。と思うかも。しれないけれど、わが家のタブノキは迫力がいちがう。わが家だけでなく、お散歩をしてい

る町の人をもつつみこんでくれる。みんなが知っているわが家の巨木。

でも、大雨や雷の日は雷が木に落ちないかなと心配になってしまふ。それでも私はこの木が好き。

私が小さいときからずっと見守ってくれて

いる。ようち園バスを待っている時に、雨や風から守ってくれた。今では小学校への登校

や帰宅を見守ってくれている。これからもう

ろしくね、私のもう一人の家族。

巻島

夢咲より

関東2ブロック

中学年の部

最優秀作品賞

まさしま ゆめさ  
巻島 夢咲さん(4年)  
利根町立文小学校

✿ 審査員から ✿

もう一人の家族のように、小さい頃から見守ってくれたタブノキへの思いを綴る。季節の移り変わりの描写とともに高い文章力で書かれている。

# ありがとう！ おじいちゃんと先祖様

うちの畑のすみには、小さな山があるね。何だろうと思っていたが、おばあちゃんが料理で出た野菜のへたや皮をその山に捨てる行っているではないか！夏はちょっと臭くて虫がブンブンして、近づきたくない場所だった。所が、ある時おじいちゃんがその山をほり起こして、中からふわふわの真っ黒な土が出て来たね。ぼくはびっくり！おじいちゃんにたずねると、「ただのゴミの山じゃないんだよ。野菜の捨てちゃう部分を自然界の微生物が時間をかけて分解してぐたい月巴ができるんだ。栄養たっぷりのたい月巴は、また来年おいしい野菜を作ってくれるよ。うち先祖代々それを糸売けてるんだよ。」ぼくはもう一度びっくり！おじいちゃんは、先祖代々から糸売く人工的でない自然界の力を使う方法で野菜作りをしていくっている。これはまさに持糸売可能な社会を目指した方法ではないか！捨ててしまうものを使って自然界の力で再生する、そしてまた再利用しておいしい野菜ができる、すばらしいじん環だよ。ぼくたちの生活は、先祖様から続く方法で守られ持糸売しているね。ぼくもこの方法を引きついで、持糸売可能な社会を実現していきたいな。おじいちゃんやり方を孝文えしてね。そしてぼくたちのためにありがとう！！

倫成より

関東2ブロック

高学年の部

最優秀作品賞

かわむら みちなり  
河村 倫成さん(6年)  
利根町立文小学校

✿ 審査員から ✿

はるか昔から日本人が行ってきたサステナブルな暮らしが、祖父から伝えられている様子が、驚きや発見とともに書かれた作品。リズム感のある文章もよい。

めだかさんへ

めだかさんがわたしのおうちにきてくれ  
てうちのなかがいしてもにぎやかに  
なりましたわたしは、まえにもめだかを飼った  
ことがあったけど、そのときはかいかたにもよく  
わからなくてすぐいしんでしまいました。  
だから今度は ぜったいにかいかたを  
よくしるべたいせつにそだてることに  
しました。さいせん、めだかさんがたまご  
をうんでくれて あかちゃんかたまごから  
でてきたときは、すごくびっくりしたけど  
とってもうれしかったよ。ばばがめだ  
かさんをそだてることは いのちをあ  
ずかることだよとおしえてくれました。  
たいせつないのちをまもるためにいっ  
ぱいけんがいおせわをします。これからも  
ごはんをいっぱいたべておおきくなって  
ね。

もみじより



中部・東海ブロック

低学年の部

最優秀作品賞

ひらやす もみじ  
平安 紅葉さん(1年)  
豊橋市立羽根井小学校

✿ 審査員から ✿

めだかを飼ったことをきっかけに得た  
新たな発見を素直に綴っている。父の  
「命をあずかること」という言葉をしっ  
かり受けとめている様子がわかる。

おばあちゃんへ  
 小林蒼  
 はあちゃんとはくは、たん生日が一日が  
 いです。ぼくがうまれた時、はあちゃんほ  
 「こんなうれしいたん生日プレゼントはな  
 よ」と、ぼくが生まれた事を本当によろこん  
 でくれたそうです。はあちゃんは、ぼくが生  
 まれる前、病気で体の半分が動かなくなり、  
 車いすになってしまっただそうです。でも不自  
 由な体でぼくをたっこしたりごはん食べさせ  
 てくれたり、とてもかわいかったです。

はあちゃんの家に行く時、いつもやさしい声  
 で「ああちゃんよく来たね」と言ってくれま  
 した。

ぼくとばあちゃんはこれまでずっと毎年一  
 しょにたんじょう日をお祝いして来ました。  
 去年もみんなでおんせんに行き、いっしょに  
 たん生日を、お祝いしました。でもはあちゃ  
 んは、それからすぐ入院して、死んでしま  
 いました。はあちゃんの家に行って「ああち  
 ゃんよく来たね」の声は聞こえなくなり、ぼ

くはさみしくなりました。もっていっしょに  
 いたかった。今ままでかわいかったです。  
 ありがとうございます。

中部・東海ブロック

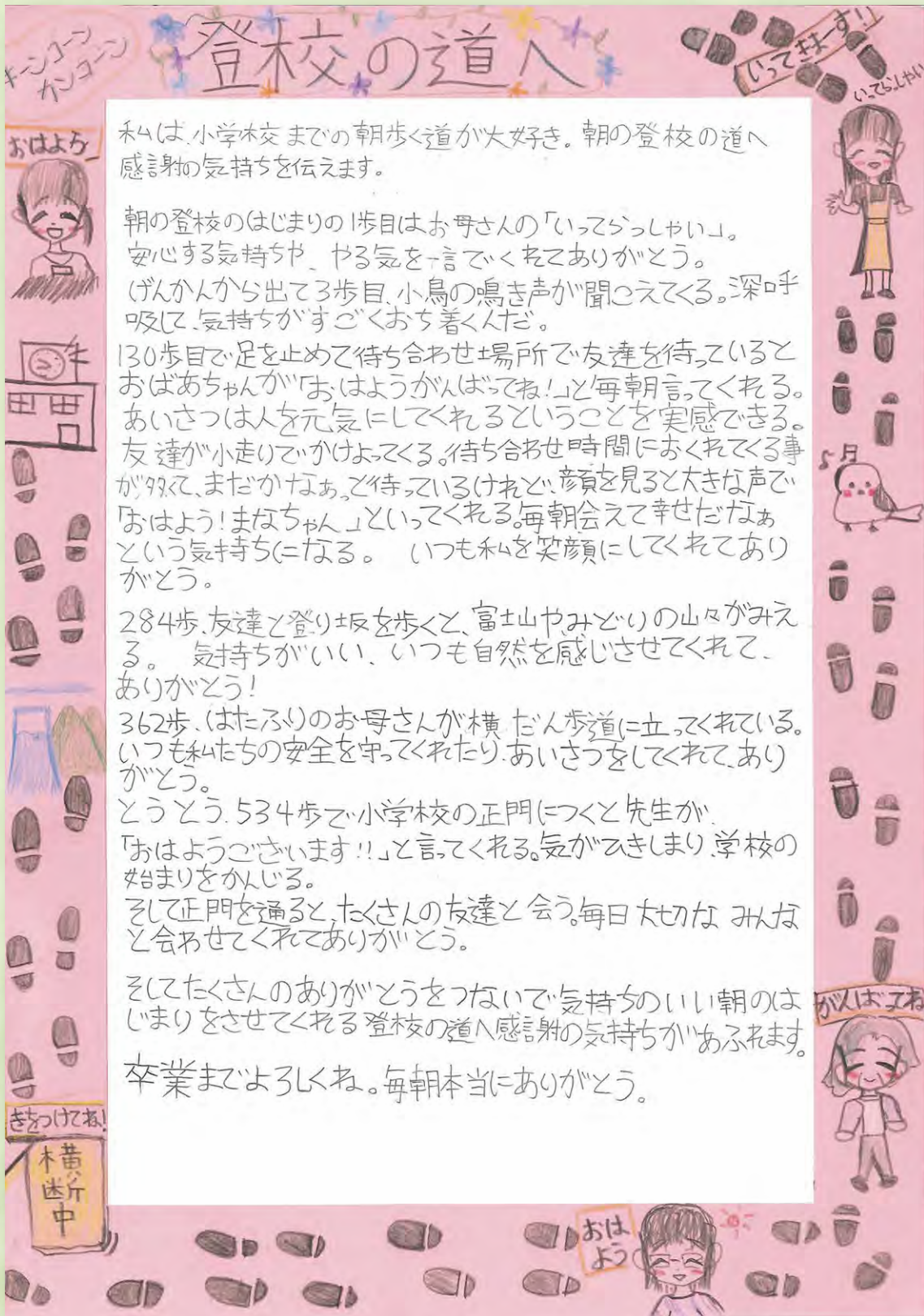
中 学年の部

こばやし あお  
**小林 蒼さん(4年)**  
 松本市立島立小学校

✿ 審査員から ✿  
 誕生日が1日違いの自分に愛情を注い  
 でくれた祖母への感謝の手紙。亡くな  
 ったことの寂しさをもう声が聞こえな  
 いと表現する一節が胸をうつ。

最優秀作品賞





私は、小学校までの朝歩く道が大好き。朝の登校の道へ感謝の気持ち伝えます。

朝の登校のはじまりの歩目はお母さんの「いってらっしゃい」。安心する気持ちや、やる気を言ってくれてありがとう。げんかんから出てくる歩目、小鳥の鳴き声が聞こえてくる。深呼吸して、気持ちがすごくおち着くんだ。

130歩目で足を止めて待ち合わせ場所で友達を待っていると、おばあちゃんが「おはようがんばってね!」と毎朝言ってくれる。あいさつは人を元気にしてくれるということを実感できる。友達が小走りでかけよってくる。待ち合わせ時間におくってくる事が多て、まだかなあ、と待っているけれど、顔をみると大きな声で「おはよう!まなちゃん」といってくれる。毎朝会えて幸せだなあという気持ちになる。いつも私を笑顔にしてくれてありがとう。

284歩、友達と登り坂を歩くと、富士山やみどりの山々がみえる。気持ちがいい、いつも自然を感じさせてくれて、ありがとう!

362歩、(はたふり)のお母さんが横たん歩道(=立っ立っている)に立っ立っている。いつも私たちの安全を守ってくれたり、あいさつをしてくれて、ありがとう。

とうとう、534歩で小学校の正門につくと先生が「おはようございます!!」と言ってくれる。気がよきまり、学校の始まりをかんじる。

そして正門を通ると、たくさんの友達と会う。毎日大切なみんなと会わせてくれて、ありがとう。

そしてたくさんのありがとうをつないで、気持ちのいい朝のはじまりをさせてくれる登校の道へ感謝の気持ちがあるます。

卒業までよろしくね。毎朝本当にありがとう。

中部・東海ブロック

高学年の部

最優秀作品賞

あおき まなみ  
青木 愛実さん(5年)  
富士市立神戸小学校

審査員から

6年間過ごした学校への感謝を、登校への道すがらの風景で語る作品。学校までの歩数を鍵に、いきいきと丁寧に描写する構成が秀逸。



ぼくの筆記用具へ

福本 哲大

えんぴつへ、いつも身を削って、ぼくの勉強につき合ってくれてありがとう。もってて、いぬいに字を書くように気をつけるね。

消しゴムへ、休み時間はケシバトで楽しませてくれたり、まちがえた文字を消してくれてありがとう。まっすぐな線を引くだけではなく

ころがった消しゴムを取ったり、背中がかゆい時も役に立ってくれてありがとう。

筆箱は、小学校の入学式からずっと一緒に頑張ってくれてありがとう。使いやすく、丈夫で黒色だから汚れが目立たないから、とってもお気に入りです。

いつも、ぼくのために働いてくれる筆記用具のみんな、大切に  
するね。

関西ブロック

中学年の部

最優秀作品賞

ふくもと 哲大  
福本 哲大さん(4年)  
姫路市立東小学校

✿ 審査員から ✿

毎日使っている筆記用具のひとつひとつに、光景が浮かぶような斬新で個人的な表現で感謝を伝えている作品。筆箱の絵もうまい。

ありがとうの手紙応募用紙 姫路市立城西小学校

学年 <sup>ふりがな</sup> 6年 名 前 山崎 晃生 (男)・女

※用紙を横にして、たてがきにしてもかまいません。市販の便せんや他の紙で書くのもOKです。

突然ウクライナとロシアの戦争が台まりました。ニュースでは、はくはされ、こわされた建物やひなんしている人や戦争している人が目撃していました。それを見て、とてもこわくて、自分は戦争に巻き込まれたくないなど、思いました。その中でも印象に残ったのは、ぼくたちより小さな女の子が、「死にたくない」と言って泣いていることです。またかいのに、一生心に傷が残るだろうと思いかわいそうでした。

日本は、77年間平和で安心してくらしてきました。この平和で安心な生活が特別なものだと気がきました。これからこの平和が続いてほしいと願っています。

この平和を守ってくれた日本のみなさん、先祖の方々に感謝しています。ありがとうございます。これからぼくたちの世代がおそろしい戦争をしないようにしていき、平和な日本を守りたいです。日本の安全安心にありがとう。

関西ブロック

高学年の部

やまさき こうき  
山崎 晃生さん(6年)  
姫路市立城西小学校

✿ 審査員から ✿

戦争のニュースから深く考えた作品。平和の尊さ、日本の平和が特別なものであることまで思い至り、安心安全への感謝としている表現もよい。

最優秀作品賞

# 地球さんへ

ぼくは地球に住んでいる人間の一人として地球さんにお礼をいいたいです。

人間が長い間たくさんごみを出したり戦争をしたりして環境破壊をしているのに元気で頑張って来てありがとう。

ぼくは広島に住んでいます。学校でこの間ごみの問題を勉強しました。77年前に使われた原爆のことも学習しています。原爆が落とされたときは、人間もたくさん死んで傷ついたり、地球さんも痛がってしょう熱かたてしょう。その後も人間は、地球にはたくさんの生きものがあるのに人間のことはあまり考えて、とんとんごみを出したり戦争をしたりしています。ぼくは、そのうち地球さんががまんの限界で地球さんが壊れてしまうのではないかと思います。だからぼくは、地球さんを傷つけないように、環境のことを考える大人になりたいです。それまで見守っていて下さいね。



中国・四国ブロック

中学年の部

最優秀作品賞

ぼば まさと  
馬場 理人さん(4年)  
広島市立幟町小学校

✿ 審査員から ✿

生まれ育った地で学んだこと、戦争報道を耳にする中で考えたことを「地球を傷つけないようにしたい」という決意としている感性が素晴らしい。

# 感謝状

田城弘殿

あなたとは、たくさんの思い出があります。  
周囲に見つからぬよう千ヨコシートを持ち出し、かくれて2人で食べたこと。補聴器がないと耳が聞こえにくいのに、まくら元で人形のくつとすりかえ、困らせたこと。幼稚園や学校の発表会の動画、習字の作品などを見て、喜び、ほめてくれたこと。

これからも一緒にやりたいこと、話したいこと、見てほしいことがあったのにも思うと残念でなりません。けれども、私のことが大好きだったあなたは、きっと今も変わらぬ私を見守ってくれていることでしょう。決して返すことのできないあなたからもらった愛情に代わって、あなたの好きだった千ヨコシートをお供えしたいと思うのですが、私の布巾が勝手に千ヨコシートを口に入れてしまっています。すぐに無くなってしまうであろうお供えと共に、この感謝状を送ります。

令和四年八月十五日 初盆の縁に

六年二組 あなたのひ孫 石川 芙薫

福山市立山手小学校

中国・四国ブロック

高 学年の部

最優秀作品賞

いしかわ ふうか  
石川 芙薫さん(6年)  
福山市立山手小学校

✿ 審査員から ✿

曾祖父への感謝の気持ちを「感謝状」で表した作品。最後まで読み進めると亡くなっていることに気づかされる。ほほえましいまとめ心をうつ。

いとこのりりへ



りりは大切な妹です。わたしは、とても妹が  
 ほしい、かみおまやサンタさんに「妹をください  
 っておねがいしたんだよ。2年前にママのおな  
 かの中に来てくれて、わたしはうれしかったです。りり  
 という名前は、わたしが名付けました。せかい中の人がりりの  
 名前をおぼえてほしいと思いつけたんだよ。それぐらいうまれてくるのが  
 楽しみでした。りりも早くあいたいと思ってくれたのか32週という早さでうまれて  
 きたね。うまれてすぐにはのう出血して3回あたまの手じゅつしたのは、よくがんばった  
 と思いました。今でもこういうことで手足がうまうごかせないけど、毎日リハビ  
 リがんばっているのはかっこいいと思います。わたしのじまんの妹です。りりうまれ  
 きてくれてありがとう。これからも仲よししてね。りりのママでいらいがらね。  
 大切にみまもってあげるからね。☆ 又吉 由彩

九州・沖縄ブロック

低学年の部

最優秀作品賞

またよし ゆあ  
又吉 由彩さん(2年)  
那覇市立真地小学校

審査員から

生まれてきてくれた妹への愛情に満ち溢れた手紙。手術を乗り越え、リハビリをしながら過ごしている日々を見守る様子が目に浮かぶ。

ぼくの大切な  
おばあちゃんへ

生まれて来てくれて  
ありがとう。

「ほ、」フライ返しを使わずにお女子みやきを上手にひっくり返す料理王上手なおばあちゃん。いつもニコニコえ彦貞で、ぼくたちの言葉をよく聞いてくれるし、おうえんもしてくれるやさしいおばあちゃん。ぼくは、そんなおばあちゃんが大女子きだ。ぼくをよくほめてくれるけれど、この手系氏でぼくがたくさんほめたいと思う。なぜならこの間、10さいにな、たぼくにおばあちゃんが言った。「ちょうど同じ年のころおばあちゃんのお父さんは亡くなったんだよ」と。それを聞いてぼくはおどろいた。もし自分だったら、その悲しみをのりこえるのは、むずかしいだろうと思、たし、おばあちゃんは、すごい人なんだなああとあらためて思、った。10さいのおばあちゃんには、二人の女末がいて、お女市ちゃんとして、面どうを見たり、一人で働くお母さんの手云いをしたり。今のぼくにはできないことをたくさんして来たんだなと考えたら、ぼくの矢口しているだれよりもえらい人だと思えた。今はフラダンスの先生をしている元気なおばあちゃんは、ぼくのじまんのおばあちゃんだ。



いつも ありがとう

けん進より

おばあちゃんか生まれて来てくれて、つらいことのりこえて来てくれてそしてぼくのお母さんを生んでくれたからぼくがいる。そのことをわすれずにこれからはぼくがおばあちゃんのことをたすけたいと思っているよ。

九州・沖縄ブロック

中 学年の部

しのさき けんしん  
篠崎 謙進さん(4年)  
鹿児島市立皇徳寺小学校

✿ 審査員から ✿

愛情深くパワフルな祖母が、自分の年齢で父親を亡くしていることを知り、新たな視点で思いを綴る作品。印象的な書きだしもよい。



岡前小学を見守ってくれた大きな大きなガジュマルの木へ

100年以上、岡前小学校を見守ってくれたガジュマルの木。私は、いろいろな人からあなたのことを聞きました。

ある土地或の方には、校舎が建て替えられる前は、昔の校舎から飛びうつることができた距離に木が立っていて、休み時間のために、木に登っていたという話を聞きました。

ガジュマルが元気だったころの岡前小学校を知る先生からは、昔のガジュマルはグラウンド側にある3段の段がすっかりとがくめるほど、葉をしげらしていたと聞きました。そこで遊んだり給食を食ったりしたそうです。夏でもガジュマルの木のかげはとてはずしく、気持ちのよい場所だったそうです。

そして、私のお父さんも岡前小学の卒業生で、あなたにお世話になった一人です。話を聞くと、とて大きな木で、遊んでいる時しか、休むときは、あなたのかげで休ませてもらったそうです。でも、

私が入学して、運動会などであなたを見たと、とんども弱っていく姿を見て、八畳にしていた。

私が入学してきたころは、すでに葉がいはいしげっている姿ではなかったけれど、とて大きく今と変わらず、立派な木でした。

私は、今回、あなたが伐採されると聞いてびっくりしました。今まで当たり前のように見守ってくれていたあなたが、なくなった岡前小学校を私は、想像できません。

あなたは、これまでたくさんの岡前小学校を見てきたことでしょう。徳之島で戦争があった時のこと、徳之島がまたアメリカ領だったころのこと、新しい校舎に建て替わったときのことなど、これまでの全70の出来事を見てきてくれました。

あなたは岡前小学校の歴史そのものです。今まで本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

私たちはあなたに負けがいくらい強くたくましく生きていくことを誓います。

岡前小学校 6年 牧園 ひなた

九州・沖縄ブロック

高学年の部

まきぞの  
牧園 ひなたさん(6年)  
天城町立岡前小学校

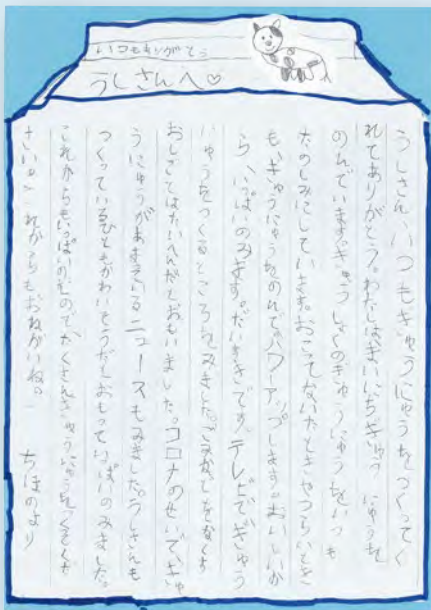
審査員から

伐採される学校の木への思いを書いた手紙。自分の故郷や家族の歴史とガジュマルの木が生きてきた時間を重ね合わせた表現が素晴らしい。

最優秀作品賞

# 審査員特別賞

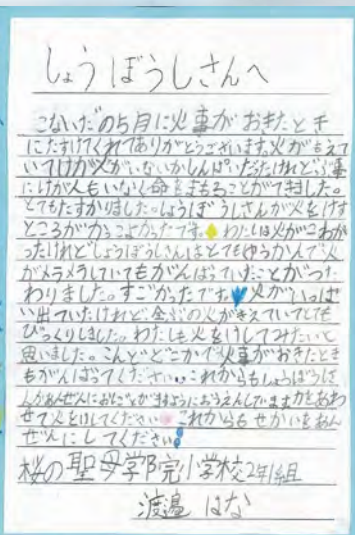
北海道・東北ブロック



1



2



3



5



4

1 **菊地 智歩乃**さん(1年)  
福島市立笹谷小学校

2 **伊藤 美結**さん(2年)  
大崎市立鳴子小学校

3 **渡邊 はな**さん(2年)  
桜の聖母学院小学校

4 **及川 隼人**さん(4年)  
東松島市立赤井南小学校

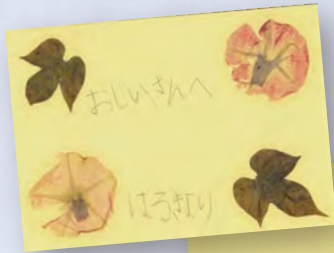
5 **松本 護也**さん(6年)  
新潟市立亀田東小学校



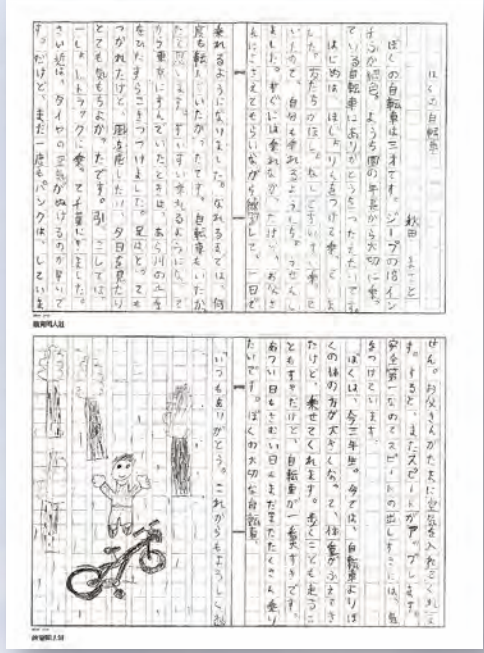
# 審査員特別賞

関東2ブロック

2



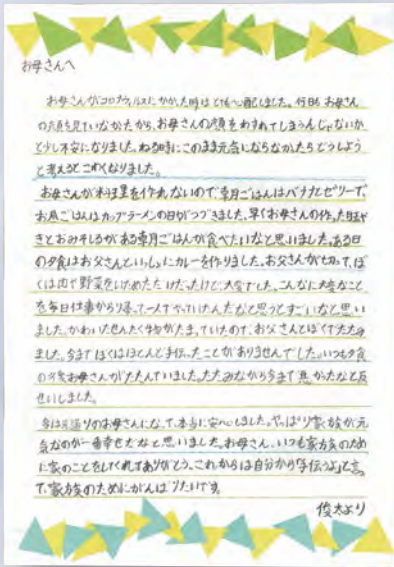
1



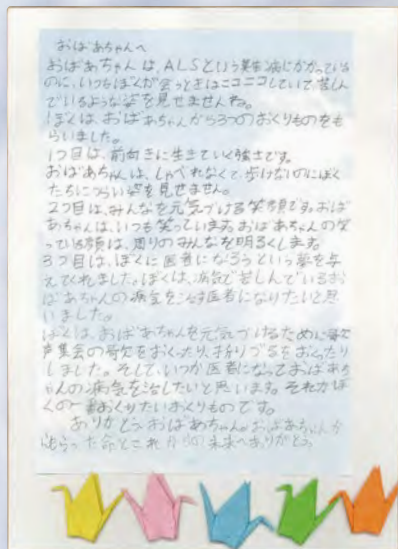
4



3



5



1 ひるせ はるき **広瀬 陽貴さん**(1年)  
市原市立水の江小学校

2 あきた まさと **秋田 勝翔さん**(3年)  
習志野市立東習志野小学校

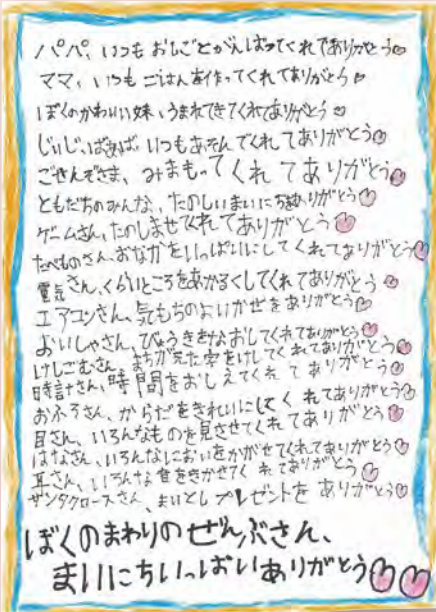
3 ふかまち しゆんた **深町 俊太さん**(4年)  
ふじみ野市立亀久保小学校

4 いちば かいと **市場 海音さん**(5年)  
船橋市立八栄小学校

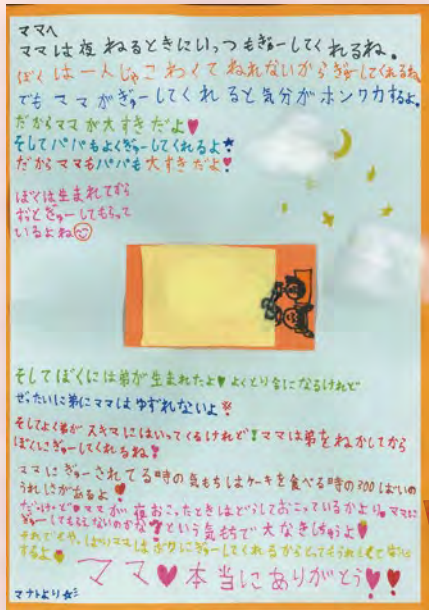
5 くまがい そうた **熊谷 奏汰さん**(6年)  
白井市立白井第三小学校

# 審査員特別賞

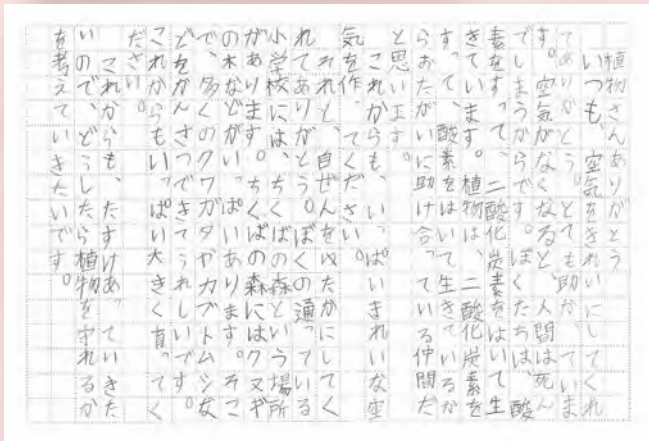
中部・東海ブロック



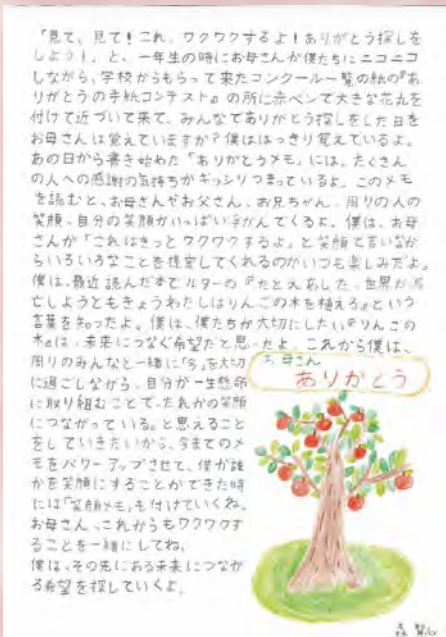
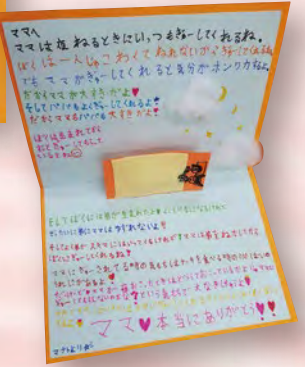
1



2



3



5



4

1 **鳥居 絃希**さん(2年)  
名古屋市立光城小学校

2 **伊豆 真翔**さん(3年)  
岐阜市立加納西小学校

3 **阿部 汰央**さん(4年)  
松本市立梓川小学校

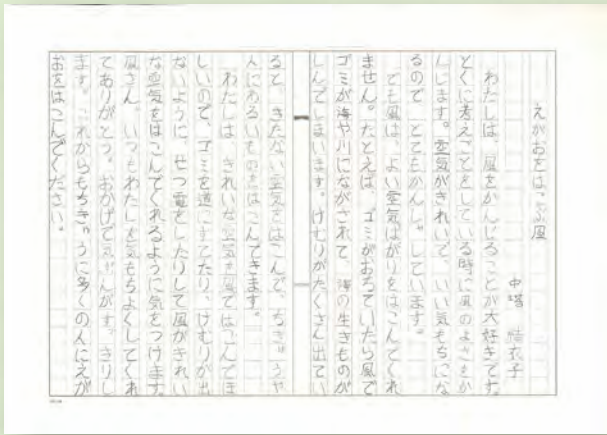
4 **坂田 遙空**さん(5年)  
立科町立立科小学校

5 **森 賢心**さん(6年)  
美濃市立中有知小学校



# 審査員特別賞

中国・四国ブロック



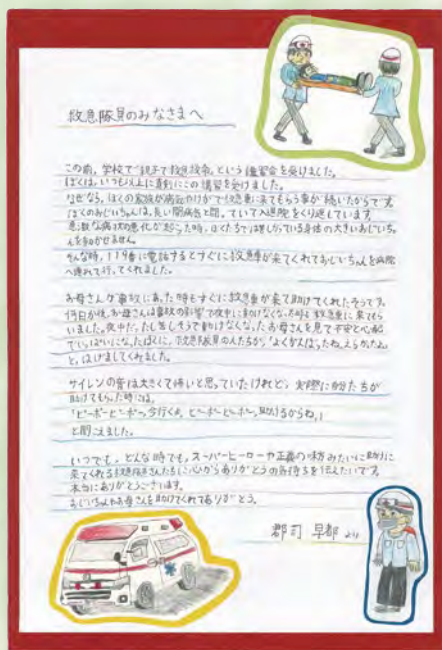
1



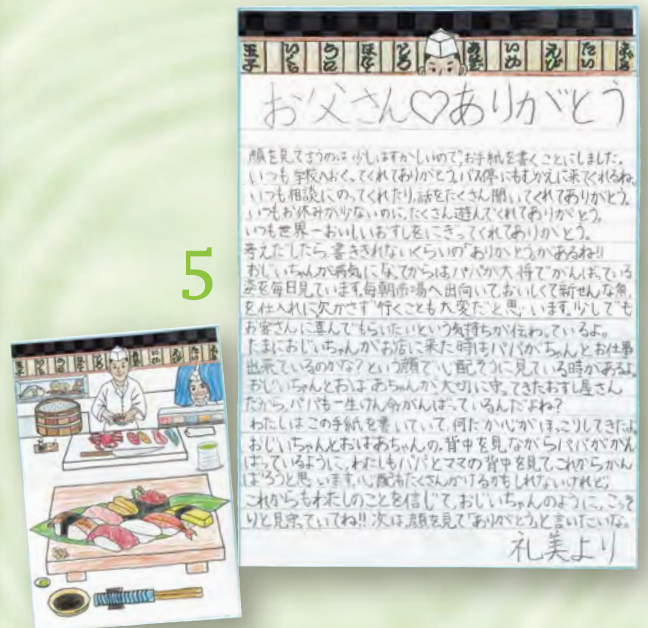
2



3



4



5

1 なかとう ゆいこ  
**中塔 結衣子**さん(2年)  
福山市立道上小学校

2 えさぎ さえ  
**江崎 紗永**さん(4年)  
東広島市立西条小学校

3 おかもと あつり  
**岡本 篤典**さん(5年)  
徳島文理小学校

4 くんじ はやと  
**郡司 早都**さん(5年)  
徳島文理小学校

5 せがわ れみ  
**瀬川 礼美**さん(5年)  
徳島文理小学校







# 学校団体賞

応募していただいた全863校・団体から  
選ばれた14校・団体です。受賞した学校から  
校長先生のコメントをいただきました。



北海道 東北 ブロック  
福島県 白河市立  
白河第二小学校

がっこうだんたいしやうじゆしやう  
学校団体賞授賞ありがとうございます。  
かんしゃ きもち てがみ にか  
感謝の気持ちを手紙にすることは、書き  
て 手 のこどもたちにとっても、読み手にとっ  
ても今の自分を見つめ直し、他への接し  
かた かんが さいかい  
方を考えるよい機会となりました。

北海道 東北 ブロック  
福島県 郡山市立  
喜久田小学校

がっこうだんたいしやうじゆしやう たいへん おも  
学校団体賞の受賞、大変うれしく思っておりま  
す。本コンテストには、数年前より取り組んでお  
り、こどもたちが感謝の気持ちを表現するいい  
機会になっています。今後も「ありがとう」の気  
もち たいせつ ひびせいかつ おも  
持ちを大切に、日々生活していきたいと思ひます。

関東 1 ブロック  
東京都 府中市立  
小柳小学校

こどもたちの通学を見守ってくださる地域の方  
から「挨拶に加え、ありがとうございますと言っ  
てくれる子が多くなりました。」という言葉をい  
ただきました。感謝の心が生まれてきたこども  
たち。今回の受賞も励みとさせていただきます。

関東 1 ブロック  
神奈川県 川崎市立  
大島小学校

「ありがとう」…なんて素敵な言葉でしょう。  
その場で伝えても、手紙にして後で思い  
を伝えても、心が温かいです。学校団体  
賞、ありがとうございます。日本中に、世  
界中に「ありがとう」が広がりますように。

関東 2 ブロック  
埼玉県 朝霞市立  
朝霞第三小学校

ありがとうという気持ちを文章で綴り、「感  
謝」を伝えることは非常に大切なことだと  
思っています。これからもこどもたちは思  
いやりをもって声をかけ、行動できる人にな  
ってほしいと心より願っています。

関東 2 ブロック  
群馬県 榛東村立  
北小学校

「ありがとう」が一番美しい言葉、と聞き  
ます。本校の児童が、自分を支えてくれる  
周りの人たちに感謝の気持ちを持ち、それ  
を手紙に書き表せたことは素晴らしいこと  
だと思います。ありがとうございます。

中部 東海 ブロック  
愛知県 碧南市立  
西端小学校

この度は、学校団体賞を受賞することが  
でき、大変光栄に思っております。この受  
賞を機に、西っ子419名の「感謝の気  
もち」を大切に、「思いやりの心」を育ん  
でいきたいと思ひます。

校長先生の  
コメント

中部 東海 ブロック  
愛知県 岡崎市立  
六ツ美南部小学校

この度は、学校団体賞をいただきありが  
とうございます。今回の受賞を励みに、  
今後も身近な人たちに感謝の気持ちをも  
って生活するよう、こどもたちに伝えて  
いきます。

関西 ブロック  
兵庫県 姫路市立  
城西小学校

本校は、「人のあたたかさに出会える学校」  
を合言葉にしています。今回の受賞を励み  
とし、「ありがとう」の心の花が一層広がり、  
あたた 温かみのある、魅力あふれる学校づくり  
邁進したいと思ひます。

関西 ブロック  
兵庫県 川西市立  
東谷小学校

がっこうだんたいしやう  
学校団体賞ありがとうございます。「ありが  
とう」という言葉は、人と人をつなぐ魔法の  
言葉でもあります。この言葉を伝えることが  
でき、また受け止めることのできるこども  
たちを今後も育てていきたいと思ひます。

中国 四国 ブロック  
徳島県 徳島市立  
徳島文理小学校

わたしたちは常にいろいろな人・モノ・コトに  
お世話になっています。こどもたちがその  
ことに気づき、じっくりと考える機会を与  
えていただきました。名誉ある賞の授与を  
機に、この心を学校中に広げて参ります。

中国 四国 ブロック  
広島県 府中町立  
府中小学校

1年生は生活科や道徳の学習からの発展  
として、日頃お世話になっている人やものへ  
の感謝の気持ちを伝えるお手紙に挑戦しま  
した。今後もこどもたちの生きて働く言葉  
の力を育てることに日々努力して参ります。

九州 沖縄 ブロック  
福岡県 宇美町立  
宇美東小学校

本校では言葉の力の育成を目標としています。  
児童自身がこの目標を強く意識し、たくさん  
作品を応募したこと、幸いにも賞をいただいたこ  
とに、この上ない喜びを感じるとともに、日々の  
取り組みへの自信を深めることができました。

九州 沖縄 ブロック  
熊本県 熊本市立  
御幸小学校

本校は「ありがとう」を伝え合う学校、「ありが  
と」が響き合う学校を目指しています。感謝の気  
もち 持ちはいつでも、どこでも、誰にでも自分から進ん  
で言えるようにしています。「ありがとう」が本校は  
もちろん、地域全体に広がってほしいと思ひます。

# —地域の皆さま一人ひとりに「家族」のように寄り添うことで誰もが安心して過ごせる社会になるように貢献していきたい— ファミリーマートでは、全国の店舗やストア スタッフとともに、地域社会と連携し、こどもたちへの支援に取り組んでいます。

\*新型コロナウイルス感染症拡大により、一部 取り組みを自粛・変更しています。



## 出前授業・ 企業訪問「ファミマ学園」

未来を担うこどもたちに向け、ファミリーマート社員が講師となって行う出前授業や企業訪問を行っています。小学生から高校生まで幅広い学年を対象とし「SDGs」や「キャリア教育」をテーマに身近なコンビニエンスストア・ファミリーマートの事業内容や取り組みなどを紹介しながら生徒の皆さまと一緒に知識を深めたり、自分や地球の未来について考えます。



### ◆主なプログラム

#### 【SDGs 授業】

「SDGs に向けてファミマが今がんばっていること」

- SDGs とはなんだろう？
- ファミリーマートの SDGs 取り組み（環境・社会）
- My SDGs 宣言



#### 概要

「買い物にはエコバックを持っていく?」「寝る時は電気を消す?」等、自分の日常を振り返るアイスブレイクから、SDGsの背景・概要やファミリーマートにおけるSDGsの取り組み(環境・社会)について、クイズを交えて伝えています。エンディングには授業内容を振り返り自分に出来るSDGsを個人で考え、関連するSDGsを考えます。

#### 【キャリア教育】

「ファミマでがんばるわたしたちの仕事」

- ファミリーマートの仕事(店長・ストアスタッフ)
- 店舗を支える本部の仕事(SV・開発・商品)
- 大人になった時の自分を想像してみよう!

#### 概要

目に見える店舗での仕事と、店舗を支える本部の仕事を紹介しています。SV・開発・商品、それぞれの立場を仮定したお題を出し、生徒達の柔軟なアイデアを引き出すワークも実施するほか、総まとめとして、「大人になった時の自分を想像してみよう」をテーマに、自らの将来と向き合ってください。

## ファミリーマート夢の掛け橋募金

店頭募金「ファミリーマート夢の掛け橋募金」は、募金していただいたお客さまと、社会的活動を行うNPO・NGO団体との“掛け橋”になり、地球とこどもたちのために活動したいという思いからスタートしました。1993年から開始し、現在4団体へ寄付をお届けしています。お預かりした募金は当社の企業寄付(マッチングギフト\*)と合わせて、国内外のこども・若者育成支援や環境保全活動などの事業に役立てられています。また、災害時には支援金募金として被災地域にお届けしています。



\*マッチングギフト…企業寄付として募金総額に対して、一定の比率を掛けた金額を上乗せしています。

## 「ありがとうの手紙コンテスト」



こどもたちの健全な成長、豊かな心づくりを目的とした次世代育成の取り組みです。2009年からスタートして累計44万通の「ありがとう」が全国から寄せられました。また、2019年からは文部科学省後援事業となったことに加え、2022年には感謝の視点・表現において最も高い評価を得た作品に対して「文部科学大臣賞」が授与されています。過去には、受賞作品5作品が道徳の教科書に掲載される等、学校教育にも貢献しています。「文部科学大臣賞」1名および「最優秀作品賞」20名の表彰式は、受賞者が通う小学校で、ご家族や近隣店舗の店長、ファミリーマート社員が参加して開催されます。「感謝の気持ち」は人と人とのコミュニケーションの基点となり、地域社会の活性化へと寄与します。今後も本コンテストを通じて、地域の学校と連携を深めながら、こどもたちを応援するとともに持続可能な地域社会づくりに貢献していきます。

## ファミマフードドライブ



ご家庭にある食べきれない食品をファミリーマート店舗にお寄せいただき、地域の自治体やNPOなどの協力パートナーを通じて、支援が必要な方に提供する取り組みです。「ファミマフードドライブ」を通じて、ご家庭にある食べきれない食品が活用され、食品ロスの削減につながります。また、全国に店舗があるファミリーマートを回収拠点とすることで、地域の皆さまに、気軽に社会貢献活動に参加していただくことができます。開始から約1年半でおおよそ50トンの食品の寄付が集まりました。同取り組みは「令和4年度食品ロス削減推進表彰」において「環境事務次官賞」を受賞しました。



## こども店長

「こども店長」は、実際の店舗でお店の職業体験ができる取り組みです。本物のユニフォームを着用して、レジを操作したり商品を並べるなど、店舗の仕事を楽しみながら知る体験学習の機会として、ご好評をいただいています。参加したこどもたちには、「こども店長」の認定証が贈られます。



## ファミマこども食堂

店内のイートインスペースを活用し、地域のこどもたちやご家族の皆さまが、ともに食卓を囲みながら交流する機会を提供する取り組みです。一部の店舗では、参加者同士のコミュニケーションを深めるため、食事に加えて体験イベントなどを実施しています。ファミリーマートの店舗が、それぞれの地域にあわせて、地域社会の一員としてこどもたちの成長を見守っています。





株式会社ファミリーマート  
<https://www.family.co.jp>

ファミマ ありがとう

検索 

